

科目区分	専門分野Ⅱ			科目番号	0901	曜日時間	不定期
授業科目	母性看護学援助論Ⅲ						
単位数	1 単位	時間	15 時間	開講時期	2年次後期	授業形態	講義・演習
担当教員							
授業目的	周産期にある母子の健康状態を観察、アセスメントするための母性看護技術ならびに褥婦と新生児の健康を高めるための援助技術の基本を学ぶ。また、褥婦と新生児の特性や看護援助の知識を活用し、事例を基に看護過程を展開する。						
中核	生命誕生の場における看護過程の展開と援助						
授業目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 周産期にある母子の健康状態を観察・評価するための母性看護技術を習得する。 2. 対象の健康状態を評価するためのアセスメントの基本を理解する。 3. 対象の疾病予防ならびに健康状態を高める援助技術の基本を理解する。 4. 事例を基に褥婦の看護過程を展開する。 						
授業の内容と方法	回	授業内容	授業方法	時間	担当	備考	
	8	<p>I. 妊娠期における看護過程の展開（事例検討）</p> <p>1) 正常経過妊婦の事例展開</p> <p>(1)アセスメントと看護判断</p> <p>II. 産褥期における看護過程の展開（事例検討）</p> <p>1) 正常経過褥婦・新生児の事例展開 (産褥1日目・3日目)</p> <p>(1)アセスメントと全体像・看護判断</p> <p>(2) 疾病予防と健康増進の具体策</p> <p>(3) 援助計画のロールプレイ</p> <p>援助（指導計画）とパンフレットを用いた指導の実際</p> <p>III. 事例の特性に応じた援助技術</p> <p>パフォーマンス課題提示</p> <p>1) 沐浴演習</p> <p>IV. まとめ・評価</p>	講義 実習 ロールプレイ	15			
終了後課題	凝縮ポートフォリオ提出（紙ファイルに綴じる）						
評価計画方法	提出物（60%）筆記試験（40%）						
テキスト参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・小林康江他編：ナーシンググラフィカ，母性看護学①②③，メディカ出版 ・森 恵美他著：母性看護学②母性看護学各論，医学書院 						
実務歴有							
講義への反映							
備考	①マタニティ診断ブック第5版 日本助産診断・実践研究会著 ②紙ファイル ①②各自準備すること						